



通信

HP 学校だより
R7.12.10
NO.30
文責 伊藤美佳



人権週間でのお話

8日（月）に行った朝会では、マラソン大会や校内版画展、読書ゆうびんコンテストの表彰と人権講話を行いました。

11月に波多野慎次先生からお話ししていただいた、みんながもっている「いのち」「ゆめ」「いいところ」について、そして「きらめきファイブ」が大切にしている言葉について、子どもたちに聞きながら、再度確認をしていきました。「人権」というと、難しく考えがちですが、「人として生きる権利は誰もがもっていること」を子どもたちにはしっかりと理解し、大切にしてほしいです。きらめきファイブが教えてくれた「ありがとう」「すごい！」「いっしょにやろう！」「だいじょうぶかい？」「大好き！」の5つの言葉で心が温かくなった「きらめき豊坂っ子」たちは、怒りや妬みの感情に負けて、ひどい言葉を他の人に浴びせてしまうことはないでしょう。これから子どもたちがより「人権」を大切にする行動がとれることを期待します。そして、そんなきらめき豊坂っ子は「あこがれ」の存在です。

修学旅行中の子どもたち

12月4日（木）、5日（金）に6年生が奈良・京都の修学旅行に出かけました。今季一番の寒さを記録した4日の早朝に集合して、奈良に向かいました。途中の山が雪景色だったり、パーキングエリアで雪が降ってきたりと天候が心配されましたが、2日間とても良い天気にも恵まれました。寒さも思ったほどではなく、子どもたちも元気に過ごすことができました。

修学旅行は集団行動の場面が多く、バスから降りて列になり、見学地まではぐれないように歩く、時には、走ることもあったかもしれません。観光地ということで、他の人に迷惑をかけないようにすばやく写真隊形になったり、移動したりということも多かったです。しかし、それをすべてやってのけた6年生は「さすが！」です。「楽しむために時間を守る」「気持ちよく過ごすために人に迷惑をかけない」そんな6年生の決意が感じられる2日間でした。もちろん、思いっきり楽しんで、いっぱい心のお土産もできたと思います。

なわとび 始めました

豊坂小学校と言えば「すもう」、「なす」かもしれませんが、「なわとび」もとても盛んで、すごい技を習得してる子どもたちがたくさんいます。マラソン大会が終わった先週、ちらほらなわとびを始める子どもたちを見かけました。今週になると、なわとびの「跳び台」が登場しました。この先、人との競争ではなく、自分の目標に向かってチャレンジでき、達成感も味わえる「なわとび」人口が、どんどん増えていくことでしょう。今年度は、どんな猛者が現れるのか楽しみです。

